

平成19年度農薬飛散リスク評価手法等確立調査検討会（第1回） 議事概要

1 開催日時及び開催場所

日 時：平成19年6月11日（月）14：00～16：45

場 所：法曹会館（高砂の間）

2 出席委員（敬称略）

上路雅子、上田哲男、小林由幸、白石寛明、福島哲仁、福山研二、森田昌敏

3 会議の概要

（1）検討会の趣旨等について

環境省より、資料1に従い、本検討会の趣旨等について説明が行われた。

また、資料3の開催要領（案）について、原案のとおり決定された。

（2）座長の選出について

開催要領に従い、委員の互選により、座長として森田昌敏委員が選出された。

（3）モニタリング調査計画（案）について

まず環境省より、企画書募集の経過について説明が行われた。次に調査実施事業者の（社）農林水産航空協会より資料4のモニタリング調査計画（案）について説明が行われ、その後、委員による議論が交わされた。

その結果、試験場所が確定した後、現場に合わせて散布農薬の種類、散布方法など詳細に検討した修正案を作成し、委員にご確認頂いた上で進めることとされた。また、検討にあたっては散布するノズルの高さや散布対象樹の樹高、散布圧、ノズルの種類等は、一般的に行われている条件が望ましいことに留意する旨、委員より指摘があった。

（4）基礎調査計画（案）について

調査実施事業者の（社）日本植物防疫協会より、資料5の基礎調査計画（案）について説明の後、委員による議論が交わされた。

その結果、以下の点について検討した修正案を作成し、委員にご確認頂いた上で進めることとされた。

課題 の散布方法の変更による気中濃度低減効果確認基礎調査で、散布量の目安を6L/分としているが、散布時間はハウス内容積等を勘案して決めること。

課題 で、外部からのコンタミの可能性が考えられるので、コントロール区を設置すること。

課題 のスポット散布及び薬量を低減した散布条件下での薬効確認基礎調査のうち、害虫防除試験については、可能な範囲で散布1日後調査も追加すること。

(5) 公園等管理者向けマニュアルの目次(案)について

環境省より、資料6の目次案及び、資料7のアンケート(案)について説明を行った。会議場の時間的な制約から、事務局は各委員から3週間以内に項目ごとにご意見を頂くこととなった。

マニュアル全般については以下のような指摘があった。

大部とならないよう全体のボリュームに留意すること。

ホームページで公開する場合には、ホームページの特性を利用した重層的で分かりやすい形式となるよう工夫すること。

(6) その他

環境省より、去る6月5日に開催された平成19年度第1回農薬吸入毒性評価手法確立調査部会の概要が紹介された。

次回の検討会の開催について、事務局より11月~12月に開催を予定している旨が報告された。

(以上)